

## ディスコグラフィー掲載

### ディスコグラフィー【2023No.190】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：ドビュッシー／ルニエ編他

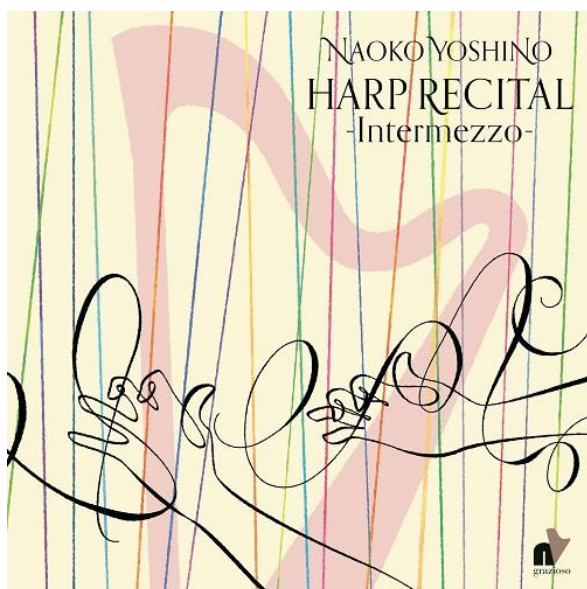
曲：アラベスク 第1番他

演奏：吉野直子(ハープ)

発売：グラツィオーソ *grazioso* (キング・インターナショナル)

No. : GNY 707

概要：



[フルートとハープのヴァレンタインコンサート](#)で求めてきた「ハープ・リサイタル ～Intermezzo～」と題したCDです。

収録情報は以下のとおりです。

#### 【収録曲】

アラベスク 第1番 (ドビュッシー／ルニエ編)

コロラド・トレイル (グランジャンニー)

練習曲 作品 76-2 (シベリウス)

ゆるやかなワルツ (メリカント)

森の中の泉のほとりにて (トゥルニエ)

夜想曲 (グリムカ) 夜のうた (サルツェード)

スペイン舞曲 第1番 (ファリャ／グランジャンニー編)

エピローグ (グラナドス)

**【録音】 2021 年 軽井沢**

今回の試聴は下記の経路で実施し、音質を比較してみました。

**EMT981(\*)→TruPhase**

**EMT-981(\*)→CRV-555(\*)→DAC-1→TruPhase**

**47 研 4716→CCV-5(\*)→DAC-1→TruPhase**

**SA11S2(\*)→TruPhase**

**CD ドライブ→fidata HFAS1-S10→Brooklyn DAC +(\*\*)→TruPhase**

**\* : GPS-777 より 44.1KHz クロック入力**

**\*\* : ABS-7777 より DA-3000 経由で 44.1KHz クロック入力**

まず、EMT981 のバランスアナログ出力から TruPhase に送り出しますと、コンサートで聴いてきた印象のとおり、柔らかいピックと豊かな共鳴胴の響きがあつて、どの曲も演奏会のような優雅な印象を与えてくれます。

次に、EMT981 のバランスデジタル出力からクロックを置き換える CRV-555 と DAC-1 経由で TruPhase に送り出しますと、上記の EMT981 のバランスアナログ出力とよく似た音ですが、若干音の焦点が甘くなります。

47 研 4716 からの再生では、DAC がともに GPS-777 からのクロックでリクロックされて DAC-1 に入力されている関係で、上記の EMT981 のバランスデジタル出力からの再生とよく似ています。

SA11S2 からの再生では、47 研 4716 からの再生より、さらに焦点がぼやけます。

CD ドライブから fidata HFAS1-S10 経由の再生では、共鳴胴の響きは後退しますが、ピックの鮮明さは向上します。

なお、以上のすべてについて、クロックや仮想アースや NRF-005T などの効果で、音の質感は十分なレベルに向上しており、基本的は、ハープの柔らかい響きや確かな演奏技量が享受できています。

また、先のコンサートの演奏が、東京の文化会館小ホールでも行われ、3 月 20 のクラシック倶楽部で放映されましたので、これも聴いてみましたが、ハープの柔らかい音色は、先のコンサートやこの CD を再現するものでした。

以上